1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2018 年 5 月 1 日発行 SSKP 通巻 6878 号

SSKP はれのちくもり

棕櫚亭通信　第 99 号

平成30年々度当初に当たり
～激変を続ける福祉とどう対峙していくのか？～

理事長　小林　由美子

若葉から深緑へと変わりゆく頃、皆さんお元気でお過ごしの事と思います。いよいよ平成 30 年度が始まりました。棕櫚亭でも恒例の人事異動があり、異動になった職員、新規採用の職員を迎え、各現場とも新しいチーム作りが始まりました。これが毎年大変な作業なのですが、同時に「どんな年になるんだろうか？」と、わくわく感を伴うものでもあります。

さて、この 30 年度ですが、外部状況として障害者総合支援法の改正、福祉・介護・診療の 3 報酬の同時改定、さらには障害者雇用促進法の改正で、法定雇用率が 2%から 2.2%（算定基礎に精神障害者が含まれる）になる等、今まで以上の激変にさらされそうです。

この変化に対応するために、棕櫚亭でもいくつかの事業展開を考えています。具体的には、就労系サービスのピアスでは、「就労移行支援事業」「自立訓練事業」の定員変更と新設された「就労定着支援事業」の開始、オープナーでは就労定着を目的とした新規二事業を東京都から受託します。また、生活系サービスのなびぃでは、やはり新設された「自立生活援助事業」を開始します。この様に素人ながらも経営を考え、事業を展開していく事がさらに必要な昨今です。加えて、他と競う力がより必要になってきている事は言うまでもありません。福祉サービスにも市場原理が入ってきたんだと、今さらながら痛感します。

しかしこの様な状況を受け、岡山県の倉敷市、香川県の高松市などでは就労継続支援Ａ型事業を展開していた株式会社系の事業所が、経営状況の悪化を理由に事業所を閉鎖するという事が相次ぎ、その影響で 270 人を超える利用者が解雇されるという問題が起こりました。これは規模の大小はあるものの、各地で起き始めている事で、利用者を置き去りにした対応には憤りすら感じます。

障害者自立支援法の施行後、規制緩和が行われてから 10 年以上が経とうとしています。当時は明確にあった営利（株式会社）・非営利（社会福祉法人など）の対立軸も、曖昧になり『「株式会社だからよくない、社会福祉法人だからいい。」とは言えない。』や、『これだけ株式会社の事業所が増えてきた中、あえて一緒にやってくことも必要だ。』という声も多く聞こえてきます。

棕櫚亭は 1987 年棕櫚亭Ｉの開所以来、常に「開く」事を選択し続けてきた組織です。そしてそこから、共同作業所や精神障害者の就労支援など、新しいサービスを生んできました。しかし、今回の「開く」は非常に難しい問題です。そして、「すでに開かれてしまった」事が混乱に拍車をかけています。ただこれは、その状況を知りつつ、変えられずにいた私達福祉側の人間にも責任の一端はあります。そこを猛省しつつ、「精神障害者の幸せ実現」に違わない、いい状況を作り出していかなくては強く思っているところです。

この様に、外部状況は少々深刻ですが、そんな時こそ「明るく・元気に・美しく」。創設者たちはいい言葉を現場に残してくれました。この言葉の通り、職員、メンバーと共に今年度も頑張って行きたいと思います。6 月には法人報告会を次ページの通り開催する予定です。皆さんもどうぞお越しください。お待ちしております。

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2018 年 5 月 1 日発行 SSKP 通巻 6878 号

平成 30 年度　多摩棕櫚亭協会法人報告会＆講演会

日時：平成 30 年 6 月 23 日（土）

第 1 部　12：30～13：30

「多摩棕櫚亭協会　報告会」

休憩　30 分

第 2 部　14：00～16：00

「講演会　3・11　福島の実情を知る　～報道されない被災地の現状～」

講師：高瀬　芳子氏

（福島県大熊町出身　スクールソーシャルワーカー）

松本　喜一氏

（福島県いわき市出身　福島県社会福祉士会事務局長・

東日本国際福祉大学健康福祉学部教授・福島大学行政政策学部非常勤講師）

6 月 15 日(金)までに法人本部 042-571-6055 までお電話でお申込み下さい。

「働く」を通じた地域貢献もはじまっています

～地域との新たなつながりを～

前回号では、棕櫚亭の「食」を通じた地域貢献を紹介しましたので、今回はピアス全体を活用した地域貢献の取り組みを報告させていただきます。

ピアスには厨房や清掃、事務などの様々な訓練部門があります。これらの部門を活用した「就業体験の場の提供」が 1 年程前から始まっています。この背景としては、2年程前から積極的に参加している地域での研修やネットワークの場での様々な出会いがあります。そこでは障害の有無にかかわらず、高校や大学生活への適応や進路に悩む若者やそのご家族が沢山いることが改めてわかりました。さらに、そのサポートに奔走する先生方の活動を知る中で、進路のイメージにつながる体験の場が圧倒的に足りないという話もうかがいました。

具体的には、事前に先生やご家族と一緒に見学をして体験実習のイメージを付けてもらい、目的に応じて1日体験～2 週間程度でスケジュールを組みます。体験してそのまま終わる場合もあれば、希望に応じて事後に改めて振り返りの場を設けることもあります。ある大学生の方の場合は、2 年生と 3 年生の 2 回にわたって体験し、3 年生の時にはより社会に出た時をイメージしたフィードバックをさせてもらいました。これまでに、地域の大学や高校に通っている 5 名の学生さんが見学し、内 4 名の方を受け入れました。あくまでも本体事業外の活動なので、今のところ顔の見える関係の範囲で受けていますが、片方向ではなく職員にとってもいい勉強になっていると感じています。たった 2 週間であっても、その方の将来に関わる一部を担っているという自覚をもって関わることが必要ですし、自分たちのサービスが使いやすいものであるのかを見直す機会にもなります。

棕櫚亭の利用者の中にも、いわゆるグレーゾーンで悩んでいたり、これまで何のサービスにもつながらず孤立状況にあったという方が増えてきています。よくこれまで一人で頑張ってきたな、と思うこともしばしばです。しかし、学校教育の場から聞く状況も切実で、本人の悩みはもちろん、先生方も本人の適応の部分をサポートするだけではなく、進学や就職にとどまらないもっと広い意味での進路を一緒に探す役割を担っているのだと実感しました。

子供食堂から青年の進路、そして私たちが行っている障害福祉、全部がつながっていることをこれらの地域貢献を通じてより深く感じながら、では何ができるのかを考えている 2018 年春です。

常務理事　高橋 しのぶ

棕櫚亭
～各施設のご紹介～

なびぃ

なびぃは、1999 年に精神障害者地域生活支援センター（社会復帰施設）として開所し、2006 年からは**「相談支援事業」「地域活動支援センター事業」**を東京都国立市の委託を受けて運営しています。主に精神障害の方の福祉サービスご利用についてや、日常生活にまつわる様々なご相談を受けています。これらの事業は国立市にお住まいの方にご利用頂けます。

その他に、サービス等利用計画を作成する**「計画相談支援」**や、入院中の方の地域生活への移行を支援する**「地域移行支援」**（退院準備のお手伝い）や、**「地域定着支援」**（退院後のサポート）なども行なっています。さらに今年度から始まった**「自立生活援助」事業**（さらに手厚い退院後のサポート等）の提供に向けて、現在申請準備中です。

棕櫚亭Ⅰ

国立市の委託を受けて国立市にお住まいの方を対象に**「地域活動支援センター」**として運営しています。定期的に通所することで生活のリズムを整えたり、「軽作業・絵画教室・ウォーキング・その他の様々なプログラム」に参加しながら“小さなお家の様なアットホームな施設”で徐々に体力やコミュニケーション力をつけていき、“地域で充実して生活する力の向上”をめざしています。毎日みんなで作って食べる家庭料理の様な昼食が好評です。

毎月様々なイベントや行事を楽しんでいますが、一例を挙げると「春はちょっと遠出しておでかけ・初夏には絵画教室で作成した絵画の展示会・夏の夜には地域のお祭りもセットで楽しむナイトユニット・秋の BBQ・冬のイルミネーション見学・正月の初詣」など、その他にも地域の行事に積極的に参加しています。より様々な方に通所しやすいように今後も作業やプログラムを改善していく予定です。

ピアス

精神障害者の方々の働きたいという切実な願いを受けて 1997 年に開所したピアスは、現在**「就労移行支援事業所」**として、原則 2 年間の利用期間の中で準備訓練を提供しています。厨房（弁当配達）・清掃・事務補助・ワークサンプルなどの作業トレーニングやプログラム、個別相談等を通して、一般就労に向けた働く力を身につけていきます。また、生活・対人面での不安がある方には、就労移行で本格的なトレーニングを行う前の基本的な通所習慣および作業を体験する**「自立訓練（生活訓練）事業」**を提供しています。

今年度には定員変更を行い、各事業 20 名ずつとなりました。またそれに伴い、生活訓練の拠点が移動になりました。また、今年 10 月からは、就職後の定着や生活面の支援を行う**「就労定着支援事業」**を新しく始める予定です。

オープナー

オープナーは、**障害者就業・生活支援センター**として、多摩地域の就労支援の拠点となり、ハローワークや職業訓練機関、就労支援機関、医療機関と連携しながら、障害をお持ちの方の就職のバックアップや障がい者雇用を進めていきたい企業のサポートをしております。障害をお持ちの方が長く働き続けていけるよう、面接相談や企業訪問、同行支援、ジョブコーチの派遣等様々な支援を行っています。特に、当事者同士の交流の場である“仕事談話室”や当事者が講師となって障害者雇用の啓発を行う“当事者セミナー”という当事者活動を大切にしています。

今年度から、東京都福祉保健局より『**精神障害者就労定着支援連絡会**』『**医療機関・就労支援機関連携モデル事業**』を委託しました。また、東京都産業労働局から委託を受けている『**中小企業障害者雇用応援連携事業**』が 3 年目を迎え、最終年度となります。

新たに 2 名のスタッフが加わり、パワーアップした体制で今年度も頑張っていきます！

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2018 年 5 月 1 日発行 SSKP 通巻 6878 号

各施設の予定＆お知らせ

法人本部

5/16(水)　映画上映会（近隣福祉施設職員との交流も）
5/26(土)　決算理事会
6/1(金)　法人全体職員会議
6/23(土)　法人報告会・講演会

なびぃ

5/12(土)11 時～　むっさ 21 フリマ出店
売上は被災地等に寄付します。
ぜひお立ち寄りください！

棕櫚亭Ⅰ

6/25(月)～7/1(日)　絵画展
@国立市福祉会館 1 階
絵画の説明等のため 10 時～16 時は職員駐在
7/13(金)　防災訓練@立川防災館

オープナー

6/ 7(木) 14 時～16 時　多摩就労ネットワーク連絡会議
6/26(火) 多摩地区ハローワーク 6 所と
多摩地区就業・生活支援センター3 センターとの懇談会

ピアス

5 月　自立訓練（生活訓練）・ピアスⅡの移転（線路沿いのアップスタイルビル 2 から、ピアスの数軒隣へ）
★新住所 国立市富士見台 1-17-29
アップスタイルビル 1F
6/11(月)　家族説明会・懇談会

【多摩就労ネットワーク連絡会議】
障害者就業・生活支援センターオープナー／ハローワーク立川

「精神障害者の職場定着率の低さ」を解き明かす
一般企業における精神障害 49.3%（1 年定着率）
離職リスクはどこにあるのか？！

日　時：２０１８年６月７日(木)１４時～１６時
場　所：立川地方合同庁舎（ＨＷ立川）３階
対象者：就労支援機関・ハローワーク・行政・就労相談・支援に携わる方
定　員：100 名（定員になり次第締め切りとなります）

●TIME TABLE●
第１部　オープナー事業報告
第２部　「障害者の就業状況等に関する調査報告書」から
第３部　当事者アンケート報告

お問い合わせ・申し込みはオープナーまで

【編集後記】
あっという間に新年度、４月は飛ぶように過ぎていきましたね…。
個人的にはピアスⅡの引っ越しがビックイベントでしたが、一先ず新しい場所に落ち着くことが出来ました。ぜひ一度いらしてください。（尾崎）

社会福祉法人
多摩棕櫚亭協会

ウェブサイトにて、
最新の情報をお届けしています。
『棕櫚亭』で検索！　*www.shuro.jp*

【編集】国立市富士見台 1－17－4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
はれのちくもり編集委員会
Tel　042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102
Tel　03-6277-9611
【定価】100 円